

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 2月 1日

事業所名 放課後デイサービスぽーと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	5	1		定員に偏りのある日が見られる。
	②	職員の配置数は適切である	4	3	2		東京都の基準配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	4	3		4階でエレベータの利用やバリアフリー化をしているが非常階段の手すり無し
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	0	5	4		職員でのミーティングにて確認 を取り行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	2	2		年一回実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	5	1		毎年HPIにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2	6	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	4	4	1		常勤職員については、毎月制度 や児童への支援についての研 修を行っている。非常勤職員に ついてはスケジュールにより受 けられないこともある。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	2		児童の成長の幅はそれぞれの 為、日頃の様子やご家庭との意 見を踏まえながら計画を行って います。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	4	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	4	2		月ごとに担当を決め児童に合わ せたプログラムを組んでくれて いる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6	2	1		固定化しないよう職員で持ち回 り取り組んでいるが固定化しな いよう新しい内容を加えたい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	1	2		・一日一度の運動を行うようプ ログラムを組んでいる。 ・長期休暇の際には、学習プリ ントを用意し取り組む活動や、 日常の生活動作につながる支 援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	4	3	2		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	1	3		・共有が必要なことについて は、打ち合わせなどを行っている。 ・共有用の連絡ノートの活用を 使用し情報に漏れが無いよう に気を付けます
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	3	3		常勤職員内で支援後に打ち合 わせを行っています。 気になる点などについてはミー ティングの機会にて小さなこと でも、他の職員に伝えており、全 員で共有できたら良い。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	4	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	1	7	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	3	0		学校送迎時に学校での様子など情報共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	9	0		現在対象となる利用者がいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	7	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	7	1		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	3		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	3		コロナ禍の影響もあり実施していない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	6	3		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	2		送迎時に情報共有をし、日々の様子について連絡帳にて交換している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	4		コロナ禍の影響もあり実施していない
	保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	5	0	
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	4	2		定期的に面談を行い必要であれば都度相談に乗り改善するよう支援を行っている
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	4		
㉓		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	2		
	③⑤	個人情報に十分注意している	8	1	0		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	2		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	6		コロナ禍の影響により現在は実施困難
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	0		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	1		災害時の避難訓練や指導を行っている(年2回)
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	2		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	5	1		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	2		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。